

平成 30 年度(平成 31 年 2 月)宮崎県県民意識調査

〔 アンケートご協力のお願い 〕

日ごろより県政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査では、県が取り組んでいる政策について、県民の皆様のお考えをお伺いし、県の計画や施策の達成度を見る重要な指標等として活用させていただいております。

県全体の傾向を把握するためには、県内各地、幅広い世代の方々のご意見をお伺いすることが大変重要ですので、このたび、県内にお住まいの 18 歳以上の方から、3,500 人を無作為に抽出させていただき、あなたに回答をお願いしています。

回答は選択式となっておりますので、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、近年、若い世代の方の回答率が低い傾向にありますので、積極的にご回答いただければ幸いです。



平成 31 年 2 月 宮崎県知事 河野 俊嗣

○回答にあたって

- 調査票は無記名になっており、ご回答いただいた内容はすべて統計上の処理のみに使用し、個別の調査票に関する公表は一切行いません。
- 調査票は、あて名のご本人がお答えください。
ただし、病气入院中や長期出張などによりご本人による回答が難しい場合に限り、ご家族の方など代わりの方（18 歳以上）がお答えいただいても構いません。
- 2 月 2 8 日（木）まで**に、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。
 - インターネットで回答（パソコンやスマートフォンを利用しての回答）
 - 紙の調査票で回答※詳しい回答方法については、裏面をご覧ください。
- ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。



<お問い合わせ先>

〒880-8501 宮崎市橘通東 2 丁目 10 番 1 号
宮崎県 総合政策部 総合政策課 企画担当
[電話] 0985-26-7607

<回答方法>

○インターネットで回答する場合

- ブラウザ上部のアドレスバーに以下のアドレスを入力するか、QRコード(二次元バーコード)を読み取って、宮崎県電子申請システムに接続してください。

・アドレス (※半角で入力してください)

<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/2rt02zhm>

・QRコード



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※機種などの諸条件により宮崎県電子申請システムが表示されない場合は、お手数ですが紙の調査票でのご回答をお願いします。

- 画面上の質問に沿って**2月28日(木)まで**に入力し、回答を送信してください。
- 宮崎県電子申請システムで回答しても、あなたのお名前・住所は特定されません。
- 宮崎県電子申請システムで回答した場合は、調査票を返送する必要はありません。調査票や返信用封筒は、処分していただいて結構です。

○紙の調査票で回答する場合

- 該当する項目の番号等に“○”をつけてください。
「その他」を選択した場合は、()内に具体的に記載してください。
- ご記入にあたっては、黒か青のボールペン、または鉛筆をご使用ください。
- 調査票および返信用封筒にあなたのお名前、住所を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、**2月28日(木)まで**に同封の返信用封筒にて、ご投函いただくようお願いします(切手は不要です)。
なお、調査の集計等を(株)地域経済研究所(住所：宮崎市旭2丁目1番5号総研ビル)に委託しておりますので、返信用封筒の宛名は、同社になっています。
- 紙の調査票で回答した場合は、インターネットで回答する必要はありません。

I あなたのことについてお尋ねします。

お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身のことをお聞かせください。

問1. あなたご自身のことについてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

◆性別	1 男性	2 女性			
◆世帯構成	(配偶者) 1 あり 2 なし				
	(子ども) 1 あり (1人 2人 3人 4人 5人以上)				
	2 なし				
◆職業等	1 自営業者	2 会社員・公務員等	3 パート・アルバイト		
	4 専業主婦(主夫)	5 学生	6 無職	7 その他()	
◆業種 (上記1～3の職業をお答えいただいた方のみ)					
	1 農業	2 林業	3 漁業	4 鉱業	5 建設業
	6 製造業	7 電気・ガス・熱供給・水道業	8 情報通信業		
	9 運輸業	10 卸売・小売業	11 金融・保険業	12 不動産業	
	13 飲食店・宿泊業	14 医療・福祉	15 教育・学習支援業		
	16 サービス業	17 公務員	18 その他()		
◆年齢	1 18～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳		
	4 50～59歳	5 60～69歳	6 70～79歳		
	7 80歳以上				

問2. どちらにお住まいですか。当てはまる番号に○をつけてください。また、1, 2, 3, 6, 12をお答えいただいた方は、それぞれかっこの中も当てはまる番号に○をつけてください。

1 宮崎市	4 日南市	14 高鍋町
(1 高岡町 2 田野町	5 小林市	15 新富町
3 旧青島村 4 旧木花村	6 日向市	16 西米良村
5 その他)	(1 東郷町 2 旧美々津町	17 木城町
2 都城市	3 旧岩脇村 4 その他)	18 川南町
(1 山之口町 2 高城町	7 串間市	19 都農町
3 山田町 4 高崎町	8 西都市	20 門川町
5 旧西岳村 6 旧中郷村	9 えびの市	21 諸塚村
7 その他)	10 三股町	22 椎葉村
3 延岡市	11 高原町	23 美郷町
(1 北方町 2 北川町	12 国富町	24 高千穂町
3 北浦町 4 旧南浦村	(1 旧八代村 2 その他)	25 日之影町
5 旧南方村 6 その他)	13 綾町	26 五ヶ瀬町

II あなたの生活意識についてお尋ねします。

問1. あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|------------------|-------------|
| 1 住み続けたい | 2 どちらかといえば住み続けたい | 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえば住み続けたくない | 5 住み続けたくない | |

III 8の政策課題について、あなたの考えや日ごろ感じていることをお答えください。

1 人口減少への対策

問1-1. あなたは、子育てに関して不安感や負担感などを感じますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 非常に感じる | 2 なんとなく感じる | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない | 6 わからない |

問1-2. 子どもを持つことについてのお考えを伺います。予定している(予定していた)子どもの数は、合計で何人ですか。また、理想としている(理想としていた)子どもの数は、合計で何人ですか。

(1) 予定している(予定していた)子どもの総数(○は1つ)

- | | | | |
|------|--------|---------|------|
| ア 0人 | イ 1人 | ウ 2人 | エ 3人 |
| オ 4人 | カ 5人以上 | キ わからない | |

(2) 理想としている(理想としていた)子どもの総数(○は1つ)

- | | | | |
|------|--------|---------|------|
| ア 0人 | イ 1人 | ウ 2人 | エ 3人 |
| オ 4人 | カ 5人以上 | キ わからない | |

※予定している子どもの総数及び理想としている子どもの総数には、現在の子どもの数を含む。

問1-3. あなたは、日々の生活の中で、「仕事時間」、「家事(育児)」、「プライベートの時間」のうち、どの時間を優先したいと希望しますか。また、現実にはどれを優先していますか。

(1) 「希望」(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 仕事時間を優先 | 2 家事(育児)時間を優先 |
| 3 プライベートの時間を優先 | 4 どれを優先したいともいえない |

(2) 「現実」(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 仕事時間を優先 | 2 家事(育児)時間を優先 |
| 3 プライベートの時間を優先 | 4 どれを優先しているともいえない |

2 地域を支える人財の育成

問2-1. あなたは、日ごろから自分の生活の充実や仕事の技能の向上、自己啓発等のための学習に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1 取り組んでいる | 2 少し取り組んでいる | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり取り組んでいない | 5 取り組んでいない | |

※ 「自分の生活の充実や仕事の技術の向上、自己啓発等のための学習」とは、例えば、本・雑誌・インターネット等からの情報収集、料理・生活番組等の視聴、職場内研修等により、新たな情報を得る取組を想定しています。

問2-2. あなたは、本県では、高齢者の社会参加活動（趣味、スポーツ、就業、文化、交通安全、防犯、子育て支援など）が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 活発に行われている | 2 ある程度行われている | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり行われていない | 5 行われていない | |

問2-3. あなたは、社会全体で男女は平等になっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 男性の方が非常に優遇されている | 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3 平等である | 4 どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5 女性の方が非常に優遇されている | 6 どちらともいえない |

問2-4. あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定化する(決めつける)考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 | 3 どちらかといえば反対 |
| 4 反対 | 5 どちらともいえない | |

問2-5. あなたは、本や雑誌、新聞、電子書籍等を1日平均どのくらい読んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 2時間以上 | 2 1時間～2時間 | 3 30分～1時間 |
| 4 30分未満 | 5 全く読まない | |

問2-6. 1～7の青少年の健全な育成に関する取組のうち、あなたが知っているものはどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 家庭の日(毎月第3日曜日)の普及 | 2 青少年健全育成に貢献のあった者への表彰 |
| 3 有害図書類等の区分陳列 | 4 青少年への有害図書類等の販売等の制限 |
| 5 青少年の有害興行(映画、演劇等)観覧の制限 | |
| 6 青少年の深夜(午後11時)以降の興行(映画、演劇等)や遊技場(カラオケボックス等)の利用制限 | |
| 7 青少年が利用するインターネット閲覧が可能な機器についての保護者及び事業者のフィルタリング(有害サイトの閲覧を制限するサービスやプログラム)等の努力義務 | |

3 本県の強みや特徴を生かした産業の育成やグローバル化への対応

問3-1. あなたはこれまでに、外国人や外国の団体との交流や開発途上国などへの国際協力に関連する行事・活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問3-2. あなたは、本県では外国人や外国の文化・習慣などに対する偏見や差別があると感じることがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------------|-------------|
| 1 感じる人が多い | 2 ときどき感じることもある | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない | 6 わからない |

4 地域経済や地域資源・エネルギーの循環促進

問4-1. あなたは、食材（農畜産物や水産物）を購入する際、地場産・宮崎県産を意識して購入していますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 1 常に意識して購入している | 2 時々意識して購入している | |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり意識していない | 5 全く意識していない |

問4-2. 現在、本県経済や地域の活性化のために県・市町村及び経済団体等が一体となって、広い意味での地産地消を推進していますが、あなたは、日常生活において、県内で生み出された商品やサービス、地域資源等を意識し、実際に利用していますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 意識して、できる範囲で利用している。(該当するものすべてに○をつけてください)
ア 県産品（農林水産物や加工品）の購入 イ 県内企業製品の購入
ウ 地元商店街の利用 エ 公共交通機関の利用 オ 県産材の利用
カ 県内イベントへの参加 キ 県内観光 ク その他（ ） |
| 2 意識しているが、あまり利用していない。(該当するものすべてに○をつけてください)
ア 県内の商品、サービス等について、よく知らない
イ 県内に魅力的な商品やサービスが無い ウ 値段が高い
エ 利便性が良くない オ その他（ ） |
| 3 意識していない |

※ 「広い意味での地産地消」とは、農林水産物にとどまらず、商工業や公共交通機関及び観光・地域資源など幅広い分野における地元消費を推進するものです。

5 魅力ある観光地づくりとおもてなし環境の整備

問5-1. 本県は、古事記・日本書紀に記された日向神話などの「神話のふるさと」ですが、あなたは、本県の神話や伝承、神楽、史跡など歴史的文化的資源に関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 関心がある | 2 少し関心がある | 3 どちらでもない |
| 4 あまり関心がない | 5 関心がない | |

6 文化・スポーツ等の振興や世界ブランドの認定に向けた取組

問6-1. あなたは、日ごろから文化に親しんでいますか。また、どのように親しんでいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 親しんでいる | 2 少し親しんでいる |
| 3 あまり親しんでいない | 4 親しんでいない |

(1か2を選んだ方は、ア～イにも○を1つつけてください。)

- ア 主に読書や鑑賞(テレビやパソコン・スマートフォン等によるものを含む。)により親しんでいる
- イ 主に「自らの活動」(自らが学習・創作・発表、参加する文化活動)により親しんでいる

※「文化」とは、音楽・美術・文学等の芸術文化だけでなく、生活文化等を含めて幅広く想定しています。例えば、映画、漫画、アニメーション、写真、茶道、華道、書道、食文化、手芸、囲碁、将棋、落語、漫才、祭り、伝統芸能なども含まれます。また、読書や鑑賞だけでなく、教養講座での学習や文化財保護等の支援活動なども「文化に親しむ」ことの事例として考えられます。

問6-2. あなたは、健康や楽しみ等のために、運動・スポーツ(体操やウォーキング等を含む。)を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 週に3日以上行っている | 2 週に1～2日程度行っている |
| 3 月に1～3日程度行っている | 4 3ヶ月に1～2日程度行っている |
| 5 年に1～3日程度行っている | 6 運動やスポーツはしていない |

問6-3. 県では、地域の魅力を高めるため「世界ブランド」を生かした地域づくりに取り組んでいます。次のうちあなたが知っているものはどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 綾ユネスコエコパーク(平成24年登録) |
| 2 高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産(平成27年認定) |
| 3 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク(平成29年登録) |
| 4 霧島ジオパークの世界認定に向けた取組 |
| 5 西都原古墳群をはじめとする南九州の古墳文化の世界文化遺産登録に向けた取組 |
| 6 神楽の世界無形文化遺産登録に向けた取組 |

7 地域活力の維持や住みやすい地域づくり

問7-1. あなたは、生命や健康を支える本県の医療体制の全般について、満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 満足している | 2 ある程度満足している | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり満足していない | 5 満足していない | |

問7-2. あなたは、食事や買い物の際に野菜を多く摂取するよう意識していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 意識している | 2 意識していない |
|----------|-----------|

問7-3. 県では、県民共有の財産である森林が、その多面的機能（災害防止、二酸化炭素の吸収など）を持続的に発揮できる森林づくりに活用するため、平成18年4月から森林環境税（個人県民税として年額500円）を導入していることをご存じですか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 2 課税されていることは知っている |
| 3 税の名称は聞いたことがある | 4 まったく知らない |

問7-4. 中山間地域の持つ主な機能のうち、あなたが知っているものを教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1 水源のかん養や食料の供給 |
| 2 洪水や土砂の流出を防ぐ国土保全 |
| 3 木材の供給や二酸化炭素の吸収 |
| 4 神話や神楽などの個性豊かな文化の伝承 |
| 5 森林セラピーなど癒しの場の提供 |

※ 「中山間地域」とは、主に平地の周辺部から山間地までの地域を指します。

問7-5. あなたの住んでいる地域のつながりは強いと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| 1 強い | 2 少し強い | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり強くない | 5 強くない | |

問7-6. あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉の意味を知っていますか。
(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|---------------|-------------|
| 1 知っている | 2 ある程度知っている | 3 少しだけ知っている |
| 4 聞いたことがあるが、意味は知らない | 5 言葉を聞いたことがない | |

※ 「ユニバーサルデザイン」とは、年齢や性別、障がいの有無、国籍などの個人の特徴にかかわらず、「はじめからすべての人が利用しやすい環境づくりを目指す考え」のことです。

8 自然災害（大雨、台風、地震や津波、火山の噴火など）への備えの強化

問8-1. あなたは、台風、地震等の災害に対する備え（例：食料や飲料水の確保、避難所の確認、防災メールの登録等）をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 十分している | 2 ある程度している |
| 3 あまりしていない | 4 全くしていない |

※ 「災害に対する備え」とは、例えば、多めに食料や水等を確保する、家具を固定する、避難所の場所や経路を確認する、防災メールや防災アプリに登録する等のように、災害が発生したときに自分や家族の生命・財産等を守るための取組のことです。

IV 県に関する次のことについて、あなたの考えをお尋ねします。

問1. あなたは、今の宮崎県では人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 尊重されている | 2 どちらかといえば尊重されている |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば尊重されていない |
| 5 尊重されていない | 6 わからない |

問2. あなたは、同和問題（部落問題、部落差別）について、どのように考えますか。
(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 基本的人権に関わる問題であり、社会全体の問題として考えなければならない |
| 2 自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる |
| 3 身近に感じたことがないため、あまり考えたことがない |
| 4 できるだけ避けてとおりたい |
| 5 そっとしておけば自然になくなる |
| 6 同和地区（被差別部落）に住んでいる人々の問題であるから、自分は関係ない |
| 7 そういう問題があることを知らない |
| 8 その他（) |

問3. 県では、DVの防止と被害者保護のための施策を推進していますが、あなたは、配偶者又は恋人から暴力（大声でどなられる、なぐられる、生活費を渡さない、性行為を強要されるなど）を受けて、どこか（だれか）に相談したことがありますか。
(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------------|----------------|------|
| 1 友人・知人 | 2 家族 | 3 警察 |
| 4 女性相談所・男女共同参画センター | 5 その他の公的機関 | |
| 6 民間機関(弁護士会、民間シェルターなど) | | |
| 7 どこ(だれ)にも相談しなかった。 | 8 暴力を受けたことはない。 | |

問4. 県では、様々な方法で県政情報をお知らせしていますが、あなたが見聞きしているものはどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 広報紙「県広報みやざき」 |
| 2 新聞広告「県政けいじばん」（宮日、朝日、毎日、読売、夕刊デイリー） |
| 3 その他新聞広告 |
| 4 県政テレビ番組「おしえて！みやざき」（MRT）、「みやざきゲンキTV」（UMK） |
| 5 県政ラジオ番組「おはよう県庁です」（MRT）、「Today みやざき」（エフエム宮崎） |
| 6 その他テレビ・ラジオのコマーシャル |
| 7 宮崎県ホームページ |
| 8 ソーシャルメディア（宮崎県広報ツイッター・フェイスブック） |
| 9 動画配信「宮崎県庁 楠並木ちゃんねる」 |
| 10 県が出している印刷物（チラシ・パンフレット） |
| 11 いずれも見聞きしていない |

問5. あなたは、県の広報を通じて欲しい情報が得られていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 得られている | 2 ある程度得られている | |
| 3 あまり得られていない | 4 得られていない | 5 わからない、関心がない |

(3または4を選んだ方は、そう思った理由等について教えてください。)

問6. あなたは、県が行財政改革に取り組んでいることを知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 よく知っている | 2 ある程度知っている | 3 あまり知らない |
| 4 まったく知らない | | |

※ 県の総職員数を平成17年度から平成30年度までに1,430人純減しました。また、予算編成において、徹底した事務事業の見直しや積極的な歳入確保策などにより収支改善を図るなど、行財政改革に取り組んでいます。

問7. あなたは、県の行政機関における対応(窓口や電話での対応など)について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|--------------|--------------|
| 1 良い | 2 どちらかといえば良い | 3 どちらかといえば悪い |
| 4 悪い | 5 わからない | |

【 自由記述 】

(県政全般に関するご意見等がありましたらご記入ください。)



ご協力ありがとうございました。

なお、いただいた貴重なご意見は、とりまとめた後、集計結果を県のホームページなどで公表するとともに、今後の県政運営に活用してまいります。